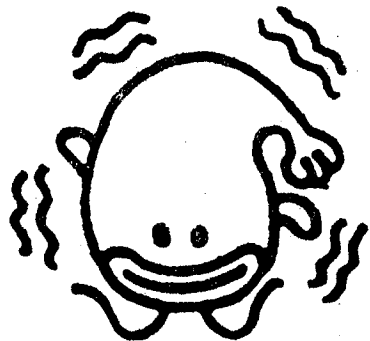


衣川台なまず通信



第 1 3 号
'08年4月23日 発行
衣川台 自主防災部

新年度あいさつ

防災部長 上田 孝

この度、平成20年度の自主防災部部長の大役を仰せつかりました12組の上田と申します。

時の流れは速いもので、私が衣川台に居を構えさせていただいてから20年が経ちました。しかしながら、この20年間、衣川台はほとんど変わることはなく、まるで叙情詩を歌うが如く、四季折々の顔を見せて我々を楽しませてくれます。

特にこの季節は、毎日私の出勤を見送ってくれるかのように鶯が軽やかにさえずり、梅の宮神社には満開の桜が待っていてくれます。

このような素晴らしい住環境を守り育てていただいた諸先輩の方々に感謝するとともに、微力ではありますが、本年度災害の防止や事前準備、また緊急対応という観点から、そのお手伝いが出来ればと考えております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

本年度の防災部事業計画

防災部事務局長 軸丸真行

衣川台での防災活動が本格化して丸3年が経過しました。少しずつではありますが皆様方からの活動への理解度が向上し、また 組織としての事業内容が定着しつつあるのは幸いです。

総会資料にも記載されておりますが、本年度の事業計画の要点を示します。

防災部の基本的な職務は「各世帯に防災意識の保有と事前の備えの実行を訴えること」・「地域での助け合いの仕組みを充実させること」の2点に集約されると思います。

そのために

- ① 災害活動員の規模の拡大
- ② 家庭用火災報知器と消火器の斡旋
- ③ 防火講習会や機関紙による啓発活動
- ④ 救援用資機材や設備の充実
- ⑤ 非常時対応への習熟訓練等について企画、推進していきたいと思っております。

皆様方のご協力により、活動が盛り上がり、有意義な成果につながることを願っています。

引継ぎ会を 防災食品の試食パーティで

情報班

「なまず通信」を発行している情報班協力員は、3月18日新旧引継ぎ会で、日頃皆が用意している防災食品を食べてみました。

大きなろうそくを2本ともして気分を出しましたが、持ち寄りのふきのとうのてんぷら・煮豆・つけもの・鳥賊の糍漬け等が並んで災害試食会とは程遠い宴会ムードとなりました。

アルファ化の白米と赤飯は、15cm×12cmのアルミの袋に入っていて、スプーンが中に入っています。上部を切って指定の位置までお湯を入れ、チャックを閉じて20分（水では60分）でご飯ができあがりました。味も結構おいしく特に赤飯はなかなかいけるという評価でした。アルミの袋は底にマチがあり安定していて、そのまま容器になります。おかずがたくさんあったのでおいしくいただきましたが、梅干だけでもとりあえず満足できそうです。

もうひとつ、普通のパックご飯を、使い捨てカイロではさみタオルなどで包んで温めるという実験は、時間が足りなくて全完には出来あがりませんでした。時間をかければ食べられるようになるということでした。

非常時には 水とそれを温める手段があれば、ご飯が食べられるということです。

今一度、我が家の非常食を点検してみませんか！

塀の上に植木鉢を置かないで！



防災活動員募集

皆さん ぜひ防災活動員に入ってください
一緒に私たちの大切な命や財産を守りましょう